

Mr. サトーのインド通信

アンドラプラデシュ州分割

歴史的な猛暑も和らいできた今日この頃。8月・・・日本はインドより暑かった。

私、インドから中国を経由して盆前に帰ってきたのですが、雨季に入りかけたバンガロールはそのとき、気温25度前後。

まだ雨季前のチェンナイでも30度前後。

アモイは40度・・・。

日本は・・・。

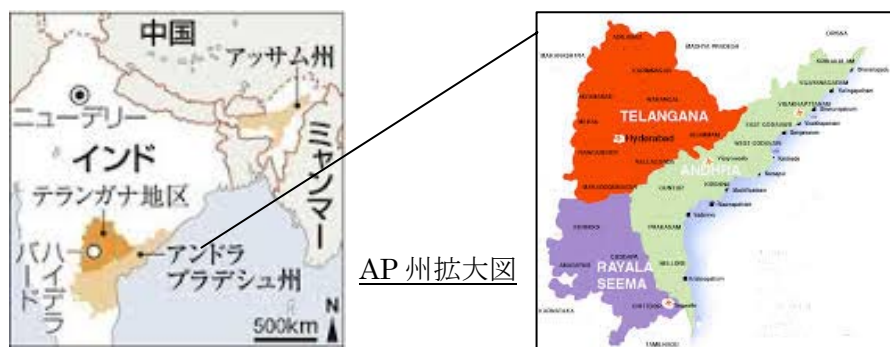
逆転現象ですね。

飛行機で居合わせた赤道直下インドネシア駐在員の子供が日本に帰ってきて「パパ、インドネシアに帰ろう。暑すぎる」

こないだ日本に来ていた日本人の感想も「ここはどこだ？」

・・・というわけでインドの気候もすごしやすくなってきて採掘関係は来月再来月あたりからピーク時期にはいります。

訪問もしやすい時期になりますので、中国飽きた、違うところに・・・等、興味のある方は担当まで。



AP州拡大図

さて長い前置きになりましたが、現在インドのある州で騒動が持ち上がっています。

それはアンドラプラデシュ州（AP州）の分割問題です。

この問題長きにわたり、賛成派、反対派に別れ騒動起こしてきましたが先月末ようやく決定が下され分割される動きとなりました、現地報道では3州に分割されるという話でしたが日本ではほんの少し記事が載っていて2州に分けられ皆大賛成と・・・

インド内タミルナドゥ州でもほぼ賛成意見の報道しか流れていませんが、実際は多少違います。

そもそもAP州というのは人口8,460万人、面積27万5,000平方キロ。

南部最大の大きい州なのですがハイテク産業の集積地である州都のハイデラバードを除きほぼすべてが貧しい農村地帯。

そこを分割するということになるとうハイデラバードを含む地域と含まない地域間で税収面に大きな差

が発生。そのことからテランガナ以外の地域での反対多数。

現在の州都、ハイデラバードは向こう10年間にわたってAP州とテランガナ州の共同州都となるそうですが、銀河の丁場周辺地域や、ベラリー周辺では大規模デモや路上封鎖、ストライキで交通網麻痺などの騒動が起きています。(ちょうどその時期に当該地域にいたので実際に見てきました。日本での報道はなし)



**路上で焚き火?じゃないです。車が燃えています→**

AP州にはかなりの原石丁場が存在します。テランガナ地域が大半を占めており、その地域の原石採掘にまったく問題ないのですが(M1-H、C1、LKなどがあります)、その他の地域は特に銀河の丁場周辺地域や、ベラリー周辺(ロイヤルブラウン、MD-8、RYO等)では影響が懸念されます。なにか情報ありましたらまた更新いたします。

さて、そろそろベトナムで工場が稼働との話です。来月か再来月辺りにはその辺の情報もお伝えできるかと思います。

またもし、ベトナムに工場作ってみたいという方がいらっしゃいましたら是非お声掛けください。いい話があります。

2013/9 SATO